# 日本籍記学会二二人

No. 60:12 / 2015

## -《部会・大会の経過報告》-

第31回全国大会は、平成27年8月28日(金)から8月30日(日)に中央カレッジグループ校舎(群馬県前橋市)及びホテルラシーネ新前橋にて開催されました。詳しい内容は本紙全国大会記をご覧ください。

## -《大会・部会のご案内》-

第32回関西部会は、平成28年5月21日(土)に桃山学院大学にて、第32回関東部会は、平成28年6月18日(土)に横浜国立大学(準備委員長:原俊雄氏)にて、第32回全国大会は、平成28年8月19日(金)から8月21日(日)に大阪経済大学(準備委員長:本田良巳氏)にて各々開催される予定です。

## 《第31回全国大会正会員出席者状況》-

第31回全国大会への正会員の出席者の状況は以下の通りでした。

 全
 体
 大学関係者
 高等学校
 専門学校
 職業会計人
 その他

 参加者数
 177名
 133名
 20名
 10名
 7名
 7名

 比
 率
 100.0%
 75.1%
 11.3%
 5.7%
 4.0%
 4.0%

 (対)
 名景公の快速ない数点等1ままで開発を1ままで開発を1まましていますか。
 (対)
 4.0%
 4.0%

(注) 各区分の比率を小数点第1未満で四捨五入しているため、僅少差0.1%が生じておりますが、便宜上、表示しておりません。

## -《平成 28・29 年度研究部会の募集》

平成28・29年度の簿記理論研究部会,簿記実務研究部会,簿記教育研究部会を下記の通り募集いたします。申し出は、研究テーマ・メンバーを明記の上、事務局宛にお願いいたします。締切は、平成28年3月31日です。

- (1) 研究期間は、第32回全国大会(平成28年)会員総会承認から2年です。
- (2) 研究成果の報告は、1年経過後の第33回全国大会(平成29年)における中間報告および第34回全国大会(平成30年)における最終報告の2回となります。
- (3) 研究成果につきましては冊子等を作成いただきます。
- (4) 研究部会費は1部会200.000円(年間)です。
- (5) 研究部会メンバーは当学会会員とします。
- (6) 研究部会メンバーの人数に制限はありません。

## 《平成 26・27 年度研究部会のメンバー追加》

簿記理論研究部会「帳簿組織の研究」部会長:原俊雄(横浜国立大学)

追加メンバー:西舘司(愛知学院大学)松下真也(松山大学)金子善行(帝京大学)

簿記教育研究部会「簿記の学びの伝統と革新」部会長:工藤栄一郎(西南学院大学)

追加メンバー:飛田努(福岡大学)【オブザーバー】

簿記実務研究部会「中小企業における業種別工業簿記・原価計算実務に関する研究」

部会長:飛田努(福岡大学)

追加メンバー:鵜池幸雄(沖縄国際大学)宗田健一(鹿児島県立短期大学)

## -《平成 27 年度日本簿記学会学会賞および奨励賞について》-

平成27年度の日本簿記学会学会賞及び奨励賞は、 学会賞審査委員会(委員長:高須教夫,委員:藤井 禎晃,峯正哉,泉宏之,佐藤信彦)における選考 とその結果報告を承けて、理事会において次のよう に決定した。

学会賞:島本克彦著『簿記教育上の諸問題』(関西学院大学出版会、平成27年3月発行)

奨励賞:中村英敏稿「簿記の成績に影響を与える 要因の分析-各教科の得意度・出席状況・ 性別等と成績に関する調査-」(第30回 全国大会・自由論題報告)(『日本簿記学 会年報』(第30号)に掲載済み)

そこで以下においては、学会賞及び奨励賞について審査の過程とその授賞理由について説明する。

学会賞については、候補作品として2点の推薦があり、これらの作品について、8月28日開催の審査委員会において、①新規性、②信頼性、③有用性、④適合性という4つの評価基準に基づき審査を行い、上記の1点を授賞作品として選考した。そこで、会員総会において公表した授賞理由を次に掲げておくことにする。

本書は、著者の約40年に及ぶ商業高校及び大学での教育経験に基づいた簿記教育に関する研究成果をまとめたものである。そして、本書においては、従来あまり取り扱われることのなかった簿記教育の目標についての検討が行われており、また簿記教育に係わる多岐にわたる問題を多面的に検討している点が評価できる。しかもここでは、多くの文献の検討を通じて論理の展開・説明が行われており、興味深い知見が示されている。ただし、本書においては、必ずしも全体を通じて一貫した論理展開が行われてはいないが、その一方で、ここでは教育経験に裏打ちされた的確な指摘が行われており、簿記教育の発展に寄与するものと判断した。

なお、審査委員会においては、本書が簿記教育に関する著書であることから、「全体を通じて一貫した論理展開」は行われていないが、それが「簿記教育に係わる多岐にわたる問題を多面的に検討」することを可能にしているともいえることから、それを短所ではなく長所と考えていることを付記しておく。

また、奨励賞については、6月27日開催の審査委員会において『日本簿記学会年報』掲載論文の中から予備選考(年齢等の形式審査)を行い、候補作品として3点を選んだ上で、8月28日の審査委員会において、学会賞と同様の4つの評価基準に基づき審査を行い、上記の1点を授賞作品として選考した。そこで、会員総会において公表した授賞理由を次に掲げておくことにする。

本論文では、これまで我が国を対象とした研究が ほとんど行われていない中、簿記授業の成績に影響 する要因の研究を行っている点は評価できる。しか もそこでは、収集したデータを用いて統計分析を行 い、それに基づき解釈が行われている。ただし、本 論文においては、データの収集方法について、また 分析結果の解釈において十全でない点が認められる が、かかる研究をさらに発展させることで、簿記教 育等に資するインプリケーションを得ることができ ると判断した。

なお、ここで授賞理由として「かかる研究をさらに発展させることで、簿記教育等に資するインプリケーションを得ることができる」ことをあげているが、これはこのような研究が大学、高等学校、専門学校等を通じて行われることにより成果の蓄積が図られることを期待してのことであることを付記しておく。

日本簿記学会学会賞審査委員会 委員長 高須教夫

# -《日本簿記学会学会賞審査委員会からのお願い》-

学会賞審査委員会では、会員の皆様からの学会賞候補にふさわしい著書等のご推薦をお願いいたします。 推薦の手続等については、学会ホームページをご確認ください。また、推薦書籍等については5部ご提出 ください。

日本簿記学会学会賞審査委員会

# 日本簿記学会第31回全国大会記

# 中央情報経理専門学校 中島 利郎

日本簿記学会第31回全国大会は,8月28日(金)から30日(日)までの3日間にわたり中央カレッジグループ校舎(群馬県前橋市)及びホテルラシーネ新前橋で開催されました。本大会の統一論題は「明治期殖産興業政策と洋式簿記の導入」としました。

テーマ設定の理由としては、①昨年6月、群馬県の「富岡製糸場と絹産業遺産群」がユネスコの世界遺産に登録されたこと、②富岡製糸場は明治5年(1872)我が国の殖産興業政策の一環で官営製糸場として設立され、後に絹産業が輸出の花形として我が国の発展の礎を築いたこと、③福澤諭吉の『帳合之法』、銀行業務にはアレクサンダー・アラン・シャンドの『「銀行簿記精法』など洋式簿記が翻訳され実務に根を下ろし明治期の産業の発展につながっていったこと等があげられます。

大会第1日目の28日には理事会をはじめ学会賞 審査委員会がグループ本部館で開催されました。

第2日目の29日の午前には高校簿記教育懇談会が同本部館で開催され、新田忠誓氏(一橋大学名誉教授)の「各種簿記検定試験の出題範囲の改定について」の講演に高校の教員を中心に多くの参加者を集めました。午後からは、ラシーネにおいて会員総会、学会賞受賞講演、映画上映・記念講演、統一論題報告、研究部会報告が行われました。

映画上映では、中央カレッジグループの専門学校が制作した富岡製糸場ドキュメンタリー映画「はじめの始まり~ブリクとシマン~」が披露されました。その後の記念講演では、このたびの富岡製糸場の世界遺産登録に群馬県企画部世界遺産推進課長として係わった、松浦利隆氏(現、群馬県立女子大学)から「世界遺産の顕著で普遍的な価値一富岡製糸場と組産業遺産群一」の講演がありました。

統一論題報告では、司会の原俊雄氏(横浜国立大学)による趣旨説明の後、①中野貴元氏(㈱エヌジェーケー)による「明治期殖産興業政策の時代と簿記教育一森下・森島[1878]『簿記學階梯』の分析を通じて一」、②津村怜花氏(高松大学)による

「国立銀行の設立と『銀行簿記精法』」、③後藤小百 合氏(高崎商科大学)による「官営富岡製糸場と会 計制度の発達 | という3つの報告が行われました。 明治期の殖産興業政策と洋式簿記の導入、普及につ いて、教育・実務のそれぞれの視点から簿記の発達 史を問う大変に興味深い内容でした。引き続き、菊 谷正人氏(法政大学)の司会の下、①簿記教育研究 部会「簿記の学びの伝統と革新」(部会長:工藤栄 一郎氏, 西南学院大学), ②簿記実務研究部会「中 小企業における業種別工業簿記・原価計算実務に関 する研究」(部会長:飛田勇氏、福岡大学)、③簿記 理論研究部会「帳簿組織の研究」(部会長:原俊雄氏, 横浜国立大学)の3つの報告が行われました。その 後、ラシーネにて富岡市のゆるキャラ「お富ちゃん」 の歓迎を受けながら懇親会がなごやかに開催されま した。

第3日目の30日には、中央カレッジグループの 3つの会場で合計9組による自由論題報告が行われ ました。第1会場では、上野清貴氏(中央大学)の 司会の下,加納輝尚氏(富山短期大学)と浦崎直浩 氏(近畿大学)の報告が、また梅原秀継氏(明治大学) の司会の下、 青木孝暢氏(白鴎大学)の報告が行わ れました。また、第2会場では、工藤栄一郎氏(西 南学院大学)の司会の下、松田有加里氏(神戸大学 大学院) と西川登(神奈川大学) の報告が、また本 田良巳氏(大阪経済大学)の司会の下,園弘子氏(高 知工科大学)・國本康寿氏(梅光学院大学)の報告 が行われました。第3会場では、清水泰洋氏(神戸 大学)の司会の下,平野智久氏(福島大学)の報告, また粕谷和生氏(横浜総合高校)の司会の下、鈴木 友則氏(前橋商業高校)と岩田和人氏(中央情報経 理専門学校)の報告が行われました。その後,第1 会場に会場を移し統一論題討論が行われ、座長の原 俊雄氏及び3名の報告者及びフロアの参加者との間 で活発な議論が行われました。

時間的制約の中での進行にご協力いただきました司会者,報告者及び大会に参加された先生方に厚く御礼申し上げます。また,前橋市まで電車等を乗り継いで大会に参加してくださった先生方に心より感謝の意を申し上げ,第31回全国大会の報告といたします。

## -《日本簿記学会会則改正について》-

改正の趣旨:定時会員総会の議長の委任規定を追加する。

| 改正後                                   | 現行                           |
|---------------------------------------|------------------------------|
| 昭和 60 年 10 月 12 日制定                   | 昭和 60 年 10 月 12 日制定          |
| <u>平成 27 年 8 月 29 日</u> 最終改正          | 平成 26 年 8 月 30 日最終改正         |
| (会長)                                  | (会長)                         |
| 第10条                                  | 第10条                         |
| :                                     | :                            |
| 3. 会長は、会員総会および理事会を招集し、そ               | 3. 会長は、会員総会および理事会を招集し、そ      |
| の議長となる。 <u>なお、定時会員総会の議長につい</u>        | の議長となる。                      |
| ては、会員総会の承認を得て、当該大会準備委員                |                              |
| 長もしくは他の正会員に委任することができる。                |                              |
| (附則)                                  | (附則)                         |
| この会則は <u>平成 27 年 8 月 29 日</u> より実施する。 | この会則は平成 26 年 8 月 30 日より実施する。 |

平成 26 年 8 月 29 日以降, 平成 27 年 8 月 27 日までに申し込まれ, 8 月 28 日開催の理事会で入会が承認された新会員は以下の通りです。

## 入会会員名簿

(名簿の番号は会員番号)

| 番号       | 氏 名    | 所 属 機 関            | 番号       | 氏 名          | 所 属 機 関                   |
|----------|--------|--------------------|----------|--------------|---------------------------|
| 2015-001 | 庄司 樹古  | 北海学園大学経営学部         | 2015-024 | 川端 康浩        | 中央情報経理専門学校                |
| 2015-002 | 大泉 早智子 | 日本薬科大学薬学部 非常勤講師    | 2015-025 | 橋 上 徹        | 県立広島大学経営情報学部              |
| 2015-003 | 川崎 定昭  | 川崎公認会計士事務所         | 2015-026 | 綾野 孝彦        | 綾野孝彦税理士事務所                |
| 2015-004 | 佐々木 克明 |                    | 2015-027 | ·<br>  玉繁 克明 | ·<br>  広島県立総合技術高等学校       |
| 2015-005 | 松﨑 堅太朗 | 税理士・公認会計士 松崎堅太朗事務所 | 2015-028 | 中島 慎太郎       | 学校法人 有坂中央学園               |
| 2015-006 | 中田 麻貴  | 豊 橋 創 造 大 学        | 2015-029 | 矢澤 利弘        | 公 認 会 計 士                 |
| 2015-007 | 渡邉圭    | 千葉商科大学会計教育研究所      | 2015-031 | 三浦 徹志        | 大阪経済大学経営学部                |
| 2015-008 | 橋本 幸二郎 | 公認会計士・税理士 安静事務所    | 2015-032 | 岩﨑 千晶        | 関 西 大 学                   |
| 2015-010 | 佐藤 豊和  | 名古屋経済大学経営学部        | 2015-033 | 岡部 隆男        | 学校法人 郡山学院                 |
| 2015-011 | 山下 知晃  | 福井県立大学             | 〈準会員〉    | !<br>        |                           |
| 2015-013 | 梅田 浩二  | 名古屋市立大学経済学研究科研究員   | 2015-009 | 西嶋 優子        | 一橋大学大学院商学研究科              |
| 2015-014 | 加藤 大吾  | 早稲田大学大学院会計研究科      | 2015-012 | 村上 翔一        | 明治大学大学院経営学研究科             |
| 2015-015 | 鷹觜 直也  | 山形県立産業技術短期大学校庄内校   | 2015-017 | 木村 勝則        | 京都大学大学院経済研究科              |
| 2015-016 | 新 谷 弥  | 北海道札幌東商業高等学校       | 2015-018 | 塚原慎          | 一橋大学大学院商学研究科              |
| 2015-020 | 星野浩    | 中央情報経理専門学校         | 2015-019 | 井奈波 晃        | 中央大学大学院商学研究科              |
| 2015-021 | 後藤 小百合 | 高崎商科大学商学部          | 2015-022 | 松田 有加里       | 神 戸 大 学 大 学 院 経 営 学 研 究 科 |
| 2015-023 | 岩田 和人  | 中央情報経理専門学校         | 2015-030 | <br>  坂 内 慧  | 一 橋 大 学 大 学 院             |

#### 編集後記

会員の皆様のおかげで、このニュースも 60 号を 迎えることができました。これからも皆様に有益な ニュースをお届けしてまいります。

(小澤・中村・兵藤・和田・渡邊)

#### 発行所 編集兼 **日本簿記学会事務局** 発行人

#### 事務連絡所

〒 101-0021 東京都千代田区外神田 5-1-15 株式会社白桃書房

e-mail boki@hakutou.co.jp URL http://www.hakutou.co.jp/boki/